

Cubase LE クイックスタートガイド

Cubase LEは、弊社ではサポート対象外となっております。ご使用方法につきましては、Cubase LEのヘルプメニューをご参照いただきますようお願い致します。

目次

本書の表記.....	1
商標に関して.....	1
インストールするには	2
Cubase LEをダウンロードする	2
Cubase LEをインストールする	3
アクティベーションするには	4
Cubase LEをアクティベーションする	4
録音・再生するには	5
準備する（使えるようにする）.....	5
オーディオを録音する	8
オーディオを再生する	8

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- パソコンのディスプレイに表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OS および OS X は、Apple Inc. の商標です。
- CubaseとVSTは、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。ASIOはSteinberg Media Technologies GmbHの商標です。



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

Cubase LE クイックスタートガイド

インストールするには

Cubase LEは、Steinbergのホームページより、ダウンロードで入手して頂く必要があります。常に最新版をお使いいただくため、ダウンロードによる提供を行っています。

Cubase LEは、WindowsとMac OS XのどちらのOSでも使用できます。

Cubase LEをダウンロードする

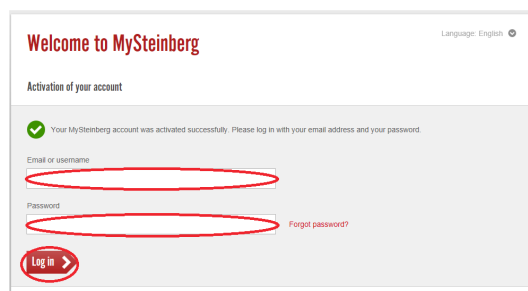
1. 以下のURLにアクセスします。
http://japan.steinberg.net/jp/home.html
2. Cubase LEをダウンロードするには、スタインバークのMySteinbergアカウントを取得する必要があります。アカウントをお持ちでないお客様は、下記の手順にてアカウントを取得してください。アカウントをお持ちのお客様は、MySteinbergにログインして、“7”へお進みください。
3. MySteinbergのアカウントを取得します。画面右上の《MySteinberg》をクリックします。



4. 《MySteinbergへようこそ》の画面が表示されますので、画面下部の《アカウントの作成》をクリックします。



5. 画面の指示に従って、情報を入力し、アカウントを作成します。
6. アカウントを作成すると、《MySteinberg Account Info》からメールが届きます。メール本文中の《To activate your MySteinberg account please click here》をクリックすると、ログイン画面が表示されますので、EmailアドレスとPasswordを入力し、MySteinbergへログインしてください。



7. 《ソフトウェアを登録》をクリックします。



8. Access codeを入力します。
TASCAM製品に附属されているライセンスカードに、お客様個人用のアクセスコードが印刷されたシールが貼ってあります。このアクセスコード入力し、次へをクリックします。



9. アクセスコードが正しく認識されるとダウンロードが可能になります。Windowsをお使いのお客様はWindows版を、Mac OS Xをお使いのお客様はMac版をクリックします。



10. 画面には、Cubase LEを使用開始する時に必要なアクティベーションコードが表示されます。アクティベーションコードは初めてCubase LEを起動する時に使用されます。



メモ

アクティベーションコードはメールでも配信されます。

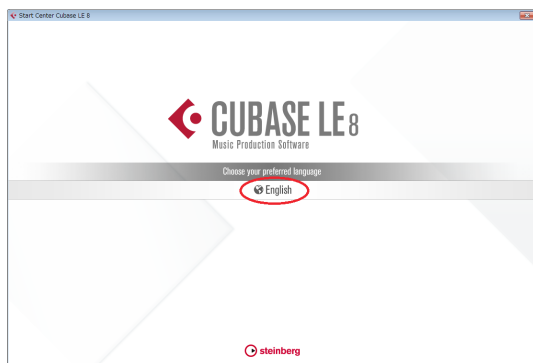
11. ダウンロードには数十分程度かかります。ダウンロードが終了したら、完了をクリックします。

Cubase LE クイックスタートガイド

Cubase LEをインストールする

Windowsの場合

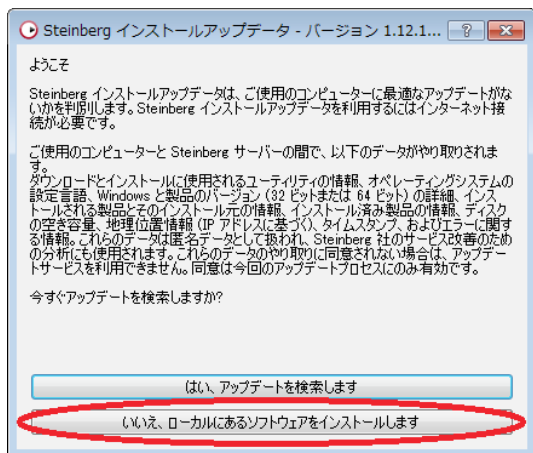
1. ダウンロードしたファイルはZipファイル形式となっています。Zipファイルを解凍すると、《Cubase LE 8》フォルダが作成されますので、このフォルダの中の《Start_Center.exe》をダブルクリックします。
2. インストーラーが起動しますが、最初は英語が選択されています。画面の中央の“English”にカーソルを合わせるとブルダウンメニューが表示されますので、日本語を選択します。



3. 画面の指示に従って進むと、インストールを実行する画面が表示されます。画面中央の《インストール》ボタンをクリックしてインストールを開始します。

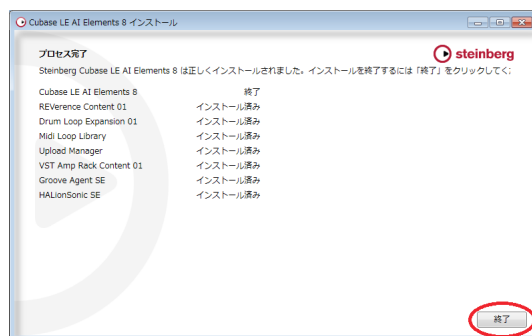


4. ポップアップが表示されますので、《いいえ、ローカルにあるソフトウェアをインストールします》をクリックします。



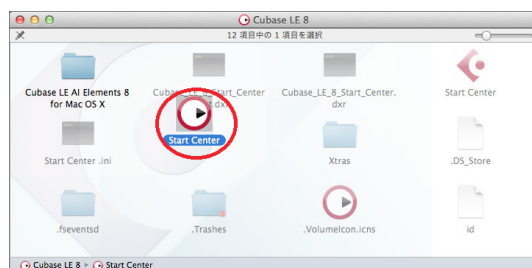
5. 画面の指示に従って進み、右下の《インストール》ボタンをクリックすると、HDDへのインストールが開始されます。(インストールには数分かかります)

6. 《終了》ボタンをクリックするとインストールは完了します。

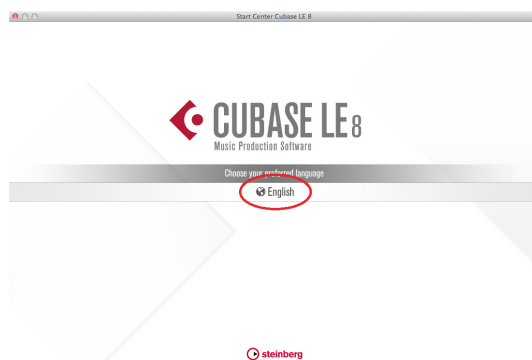


Mac OS Xの場合

1. ダウンロードしたファイルは.dmgファイル形式（ディスクイメージファイル形式）となっています。.dmgファイルをダブルクリックすると、Cubase LEのディスクイメージが開かれますので、《Start Center》をダブルクリックします。



2. インストーラーが起動しますが、最初は英語が選択されています。画面の中央の“English”にカーソルを合わせるとブルダウンメニューが表示されますので、日本語を選択します。

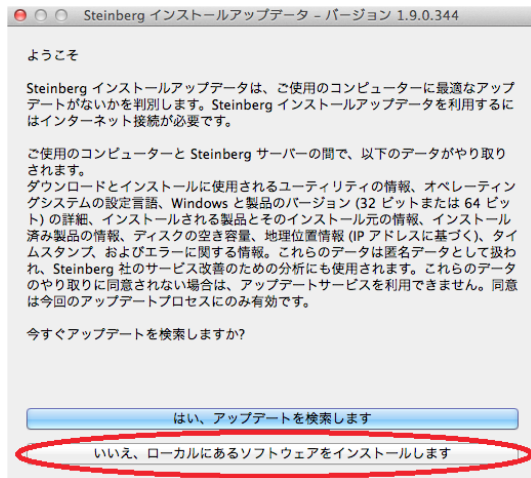


3. 画面の指示に従って進むと、インストールを実行する画面が表示されます。画面中央の《インストール》ボタンをクリックしてインストールを開始します。

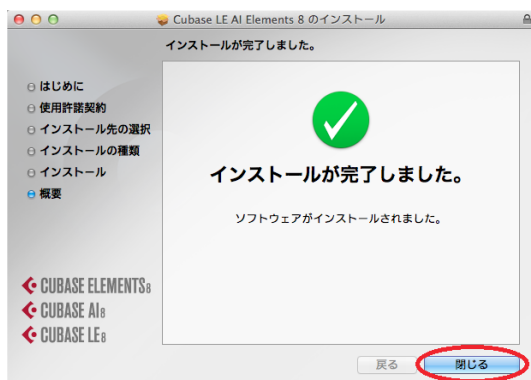


Cubase LE クイックスタートガイド

4. ポップアップが表示されますので、「いいえ、ローカルにあるソフトウェアをインストールします」をクリックします。



5. 画面の指示に従って進み、右下の《インストール》ボタンをクリックすると、HDDへのインストールが開始されます。(インストールには数分かかります)
6. インストールが完了したら、《閉じる》ボタンをクリックします。



アクティベーションするには

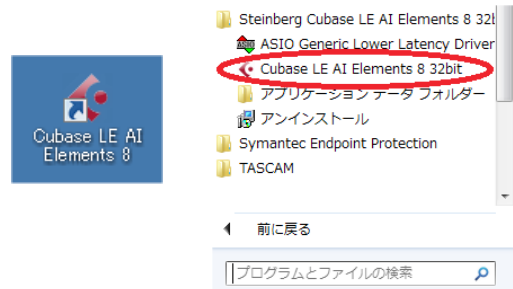
Cubase LEは、正規ユーザーの方を識別するためにアクティベーションをお願いしています。アクティベーションを行わないと使用できないようになっていきます。

アクティベーションにはインターネット接続が必要です。

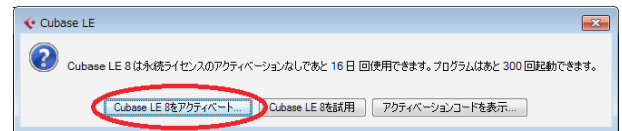
Cubase LEをアクティベーションする

Windowsの場合

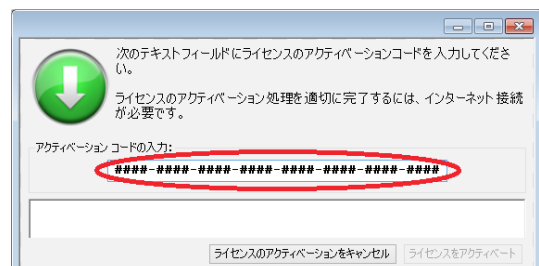
1. デスクトップに作成されている《Cubase LE AI Elements 8》アイコンをダブルクリックするか、あるいはスタートメニューから《Cubase LE AI Elements 8》を選択し、Cubase LEを起動します。



ポップアップが表示されますので、《Cubase LE 8をアクティベート...》ボタンをクリックします。



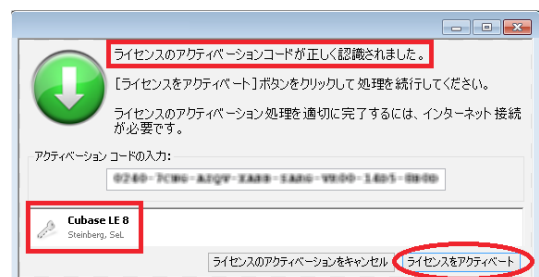
2. アクティベーションコードを入力する画面が表示されますので、入力欄にアクティベーションコードを入力します。



メモ

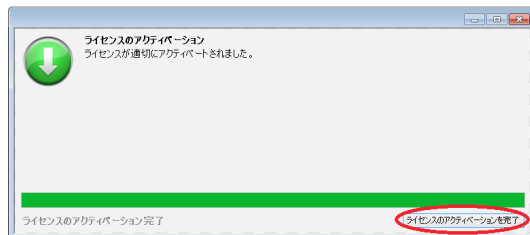
アクティベーションコードは、MySteinberg画面のアクセスコードの下に表示されています。また、メールでも配信されます。

3. アクティベーションコードが認識されると、画面上部に《ライセンスのアクティベーションコードが正しく認識されました。》と表示され、画面下部に《Cubase LE 8》が表示されますので、《ライセンスをアクティベート》ボタンをクリックします。

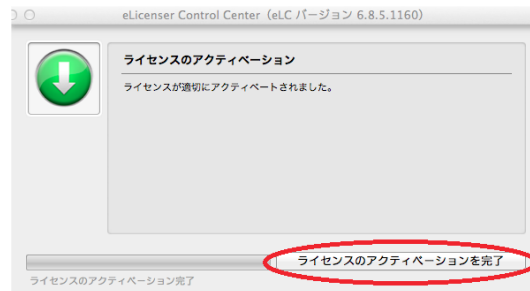


Cubase LE クイックスタートガイド

4. アクティベーションが完了したら、《ライセンスのアクティベーションを完了》ボタンをクリックします。

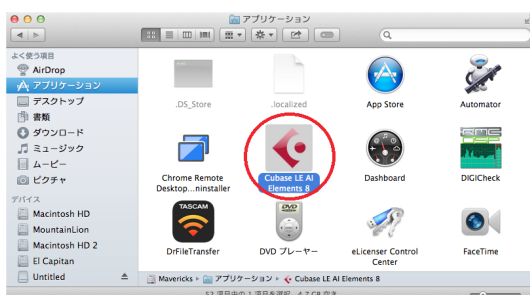


4. アクティベーションが完了したら、《ライセンスのアクティベーションを完了》ボタンをクリックします。



Mac OS Xの場合

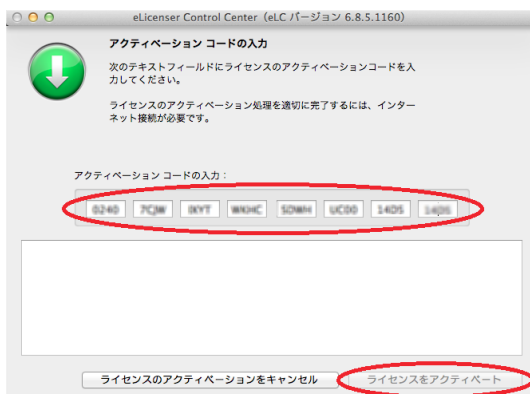
1. Finderでアプリケーションフォルダを開き、《Cubase LE AI Elements 8》アイコンをダブルクリックし、Cubase LEを起動します。



2. ポップアップが表示されますので、《Cubase LE 8をアクティベート…》ボタンをクリックします。



3. アクティベーションコードを入力する画面が表示されますので、入力欄にアクティベーションコードを入力します。入力したら、右下の《ライセンスをアクティベート》ボタンをクリックします。

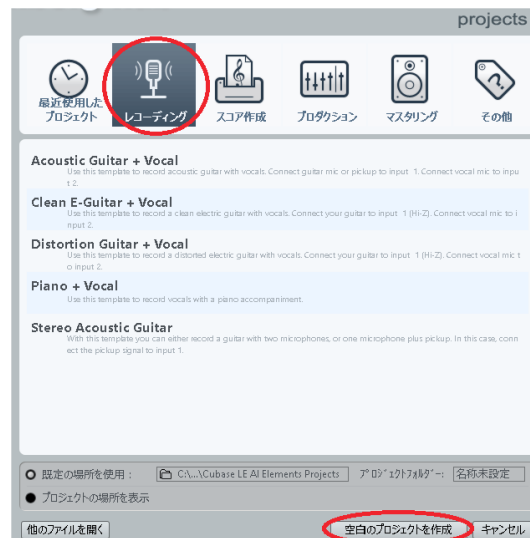


録音・再生するには

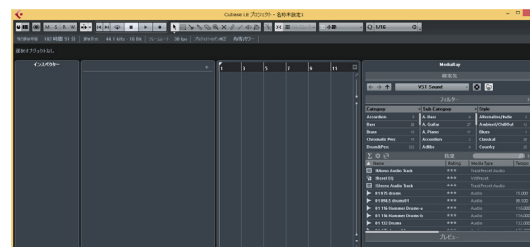
Cubase LEは、Windows、Mac OS Xとも、設定内容は同じです。以下の画面は、Windows 8 でUS-2x2を使用した場合の例です。下記に録音するまでの簡単な手順を説明しますが、詳細な機能・操作については、Cubase LEのヘルプメニューをご覧ください。

準備する（使えるようにする）

1. Cubase LEを起動します。プロジェクトのスタートアップをサポートするSteinberg Hubが表示されますので、《レコーディング》⇒《空白のプロジェクトを作成》をクリックします。



すると、下記の様な空のプロジェクト画面が表示されます。



メモ

Steinberg Hubでは、録音する楽曲に合わせた様々なデフォルトのプロジェクトテンプレートが用意されています。ここでは、Cubase LEの使い方を学ぶ為に、あえて空白のプロジェクトを作成しています。

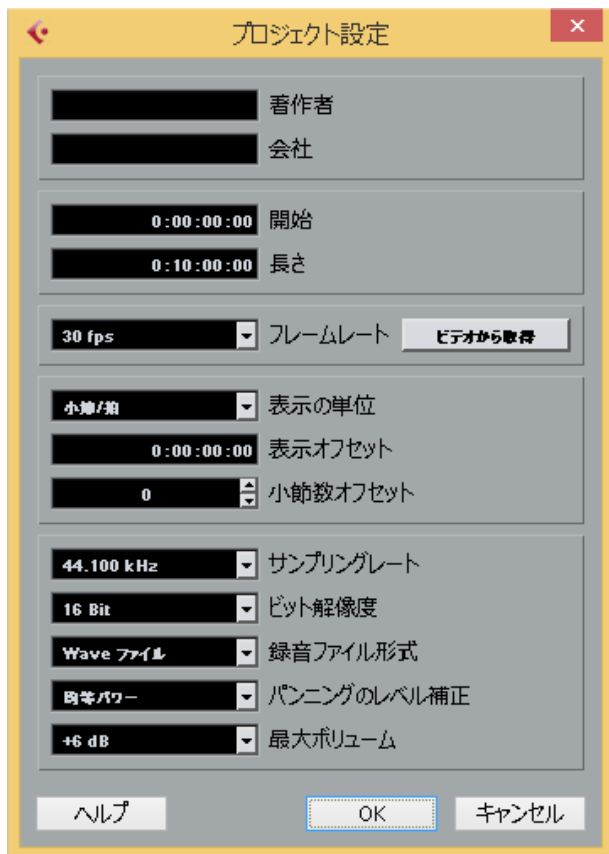
Cubase LE クイックスタートガイド

ヒント

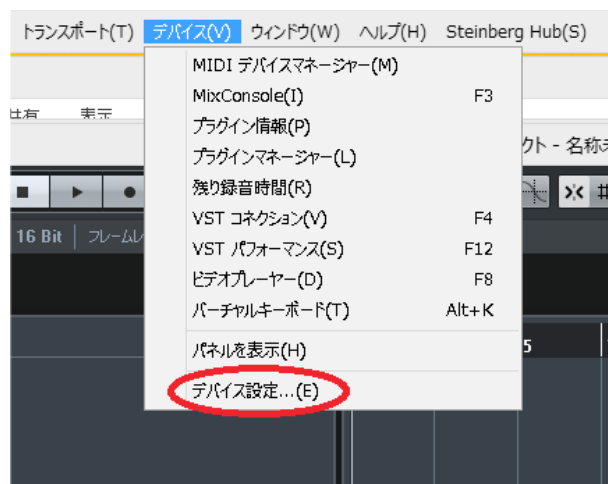
プロジェクトは一つの音楽制作作業の単位です。複数のプロジェクトを作成することができ、プロジェクトごとにセーブ(保存)、ロード(開く)、およびプロジェクト設定が可能です。プロジェクトの設定を行うには、メニューバーから《プロジェクト(P)》⇒《プロジェクト設定…(J)》を選択します。



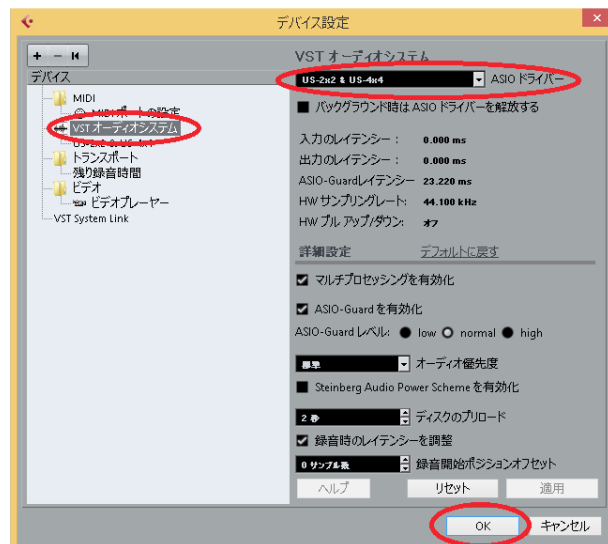
プロジェクト設定画面ではサンプリングレートやビット解像度など、プロジェクト全体の設定を変更することができます。



2. Cubase LEが外部機器と入出力ができるようにASIOドライバーを設定します。メニューバーから、《デバイス》⇒《デバイス設定…(E)》を選択します。

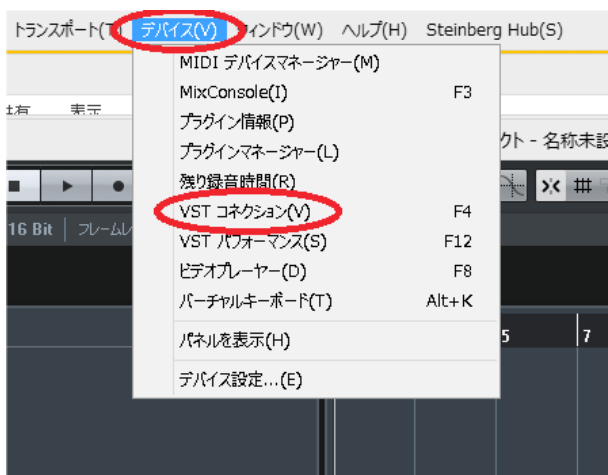


3. 左側で《VSTオーディオシステム》を選択し、右側の《ASIOドライバー》のプルダウンメニューからお使いのオーディオインターフェース機器(この場合は《US-2x2 & US-4x4》)を選択します。選択したら、《OK》ボタンをクリックします。



4. 入力オーディオポートおよび出力オーディオポートの設定を行います。これは、お使いのオーディオインターフェース機器(この場合はUS-2x2)のオーディオポートとCubase LEを接続するための設定です。メニューバーから、《デバイス》⇒《VSTコネクション(V)》を選択します。

Cubase LE クイックスタートガイド



5. VSTコネクション画面において、入力タブをクリックします。デフォルトでStereo Inバスがありますので、右側のデバイスポート（黄色の部分）のプルダウンから、US-2x2の入力ポートを選択します。この場合は、Stereo InのLeftにUS-2x2入力の01ポートを、RightにUS-2x2入力の02ポートを選択します。



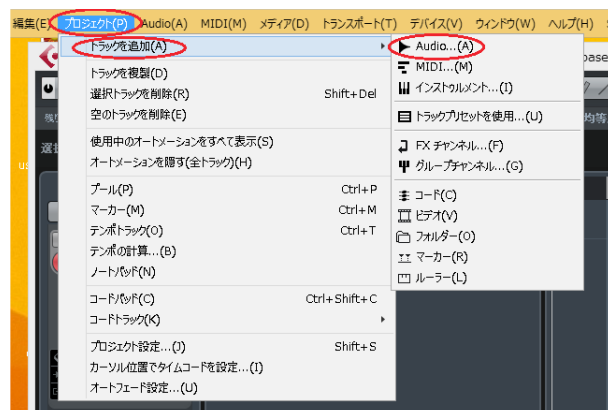
6. 同じ様に出力オーディオポートを設定するため、出力タブをクリックします。デフォルトでStereo Outバスがありますので、右側のデバイスポート（水色の部分）のプルダウンから、US-2x2の出力ポートを選択します。この場合は、Stereo OutのLeftにUS-2x2出力の01ポートを、RightにUS-2x2出力の02ポートを選択します。



メモ

- デバイスポートのプルダウンに表示されるチャンネル数は、お使いのオーディオインターフェースによって異なります。
- オーディオ信号の通り道を「バス」と呼びます。
- Cubase LEで複数のバスをお使いになる場合は、《バスを追加》ボタンをクリックする事でバスを追加できます。例えば、4チャンネル入力のオーディオインターフェース機器をご使用の場合は、入力のタブでもう一つStereo Inバスを追加し、デバイスポートで03および04ポートを選択すれば、合計4チャンネルの入力を同時に録音できます。

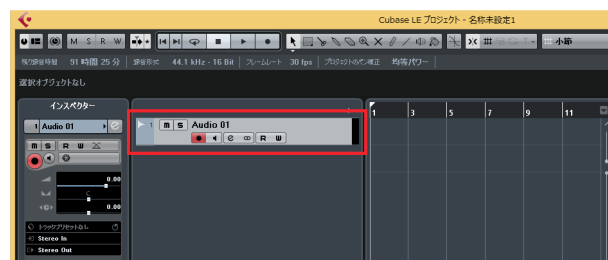
7. 次に、録音する為のオーディオトラックを作成します。メニューバーから、《プロジェクト(P)》⇒《トラックを追加(A)》を選択し、更に《Audio...(A)》を選択します。



8. 今回の例では、ステレオトラックを追加します。《オーディオトラックの追加》画面において、構成が《Stereo》である事を確認し、《トラックを追加》ボタンをクリックします。



下の様にオーディオトラックが追加されます。



ヒント

作成したトラックの入出力には、デフォルトで先ほど設定したStereo InバスとStereo Outバスがアサインされます。他のバスをアサインしたい場合は、インスペクター欄でプルダウンメニューを使って変更できます。



これで準備は完了です。いよいよ録音へ進みます。

Cubase LE クイックスタートガイド

オーディオを録音する

先程作成したトラックに録音します。

1. 録音を可能にするには、そのトラックを録音可能状態にする必要があります。トラック名(Audio 01)の下にある黒丸のボタン(録音可能ボタン)をクリックし、赤く点灯している状態にします。これでこのトラックへの録音が許可されます。
2. 録音する時には、Cubase LEの入力音(録音する演奏音)を聞く必要があります。録音する音を聞くには横のスピーカーマークのボタン(モニタリングボタン)をクリックし、橙色に点灯している状態にします。モニタリングボタンが点灯している場合は、入力されている音を聞くことができます。



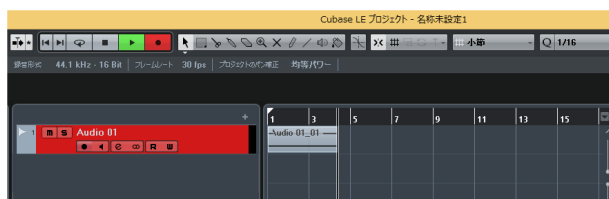
3. ここでお使いのオーディオインターフェース機器に音を入力してみましょう。音量に応じて右側のメーターが動きます。



4. 画面上部にあるトランスポートボタンのうち、黒丸の録音ボタンをクリックします。すると、録音ボタンが赤く点灯し、更に横の再生ボタンが緑色に点灯し、録音が始まります。



録音中は、録音されているトラックが赤くなり、録音に従って録音している波形が表示されます。



5. 黒四角のボタン(ストップボタン)をクリックすると、録音が停止します。



メモ

複数のトラックに次々と録音を繰り返していく事で楽曲を制作します。

ヒント

- 異なるトラックに録音する場合に間違えてこのトラックに録音してしまわないように、録音が終了したらトラックの録音可能ボタンをクリックし、録音不可能な状態にする事をお勧めします。
- 録音したデータを失わないように、こまめにプロジェクトを保

存しておく事をお勧めします。プロジェクトの保存はメニューバーの《ファイル(F)》⇒《保存(S)》を選択します。

オーディオを再生する

録音したトラックを再生します。

1. 間違えて上書き録音してしまわないように録音可能ボタンをクリックして消灯(録音不可能)にします。更にモニタリングボタンをクリックして消灯の状態にし、入力音ではなく再生音が出力される状態にします。



2. 巻き戻しボタンをクリックしてプロジェクトの先頭へ戻ります。



3. 再生ボタンをクリックすると、先頭から再生されます。



再生中は、再生している音量に応じて、メーターが動きます。



4. ストップボタンをクリックすると再生が停止します。

ヒント

再生するトラックが多くなると、トラック間の音量調節をインスペクターエリアで行うのが手間になります。このような場合は、MixConsoleを使用すると便利です。メニューバーの《デバイス(V)》⇒《MixConsole(I)》を選択するとMixConsoleが表示されます。

